

報告事項 平成 25 年度活動事業報告

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 介護保険法に基づく居宅サービス事業

1) デイサービス事業

○利用者の平均年齢=(84.5歳-0.3歳)(男性・82.5歳-0.5歳、女性・84.7歳-0.3歳)

○年間利用者数

利用者数	延べ 4,231 名	前年度(24年度)4,366名に対し <u>135名減少</u> しました。
月平均	16.8 名	前年度(24年度)17.3名に対し <u>0.5名減少</u> しました。

○デイサービス利用者数 46 名 (前 24 年度より 8 名減少。平成 26 年 3 月 31 日現在)

男性—4 名(—1 名)、女性—42 名(—7 名)

要支援—12 名(—5 名)

要介護—34 名(—3 名)

介護 1 (25 名)介護 2(6 名)介護 3(2 名) 介護 4(1 名)介護 5(0 名)

コスモスの家ケアプラン—21 名(—5 名)

他事業所ケアプラン———25 名(—3 名)

○利用者登録数は 60 名をめざしてきましたが、最高でも 56 名(6, 7 月)までしかいかず、25 年度は最終的には 46 名まで落ちています。この一年で逝去された方 6 名、入院の方 7 名、入所の方 10 名となっています。

○見学希望、新規依頼に関しても今年度は昨年度の半数の 9 件しかありませんでした。そのうち利用につながったものは 7 件、その後中止が 4 件となっています。

○利用者平均は上半期が前年度に引き続き 17.7 と安定していたこともあり、下半期が 16.2 と大きく減り月平均 14 まで落ちることもありましたが年間では 16.8 に保てました。

○スタッフ数は前回の介護保険制度改定により減らさざるを得ないため多い時で前年度より 20 名減という月もあります。さらにはボランティアさんの高齢化もあり、ボランティアさんの参加回数が前年度より 13 回減という月もあり、スタッフ一人に対する負担が増えています。

○利用者の楽しみでもある恒例のイベントは引き続き工夫して実施できています。

4 月 お花見ドライブ

5 月 バラ苑ドライブ・薬師池ドライブ

6 月 あじさいドライブ・ハーモニカ演奏会

9 月 コスモス祭り

10 月 バラ苑ドライブ・薬師池の菊花展ドライブ

12 月 ハーモニカ演奏会

1 月 初釜

○今年度は常勤スタッフから認知症の研修参加を開始しました。現在デイの利用者数 46 名中認知症状のある方は半数近くいます。今後もスタッフに認知症研修の参加を勧めていきます。

2) ホームヘルプサービス事業

	ケース数	実績ヘルパー数	総時間数	身体介護型(時間)	生活支援型(時間)	予防介護型(時間)	保険外型
H24年度	687	280	6046.5	2206 12分	1889 38分	1883 10分	117 30分
H25年度	591	248	5498	2028 20分	1654 55分	1634 45分	180
前年度比較	-96	-32	-548.5	-177 52分	-234 43分	-198 25分	+63.5

- 11月、12月に利用者4名が逝去し5名が入所または転居したため活動時間が減少しました。
- 4月に梨木尚子がサービス提供責任者として着任しましたが、10月をもって退職しました。後任として坂田昭子が週2日半の非常勤サービス提供責任者として着任しました。また、常勤のサービス担当責任者、宮武聡子が2月28日をもって退職しました。後任のサービス提供責任者として1月16日より大塩圭子が着任しました。
- 多摩区訪問介護事業連絡会 第2回総会に参加をしました。
- 外部研修 「ヒヤリはっと、事故から学ぶ」に参加しました。
- ヘルパー研修は1回実施しました。

「ベッド上でのおむつ交換」 11名参加

(2) 介護保険法に基づく居宅介護支援事業

ケアプラン作成事業

	H25年度	月平均	前年度と比較	前年度比
延べ	844	67	833 +11	1.01
要支援者	267	18.2	254 +13	1.05
要介護者	577	46.7	579 -2	1
新規	21		(26) -5	
終了	24		(11) +13	
(逝去)	7		(4) +3	
(包括へ)	0		(0) 0	
(引越し)	1		(3) -2	
(入所)	9		(1) +8	
(入院など)	5		(3) +2	
(自立)	2		(0) +2	

- 前年度と比べると、延べ人数は11名増えていますが内訳としては要介護者が2名減り支援者が13名増えているため収入面では厳しい状況です。その上制度の変更によりケアマネが受け持つことのできる件数が39件から35件に減っています。
- 今年度の終了者は24名で特に入所のための中止が昨年度より8名多くなっています。
- 困難事例も引き続き受けしており包括、行政、病院等と連携を取り合い対応しています。特に認知症関連のケースが増えており在宅介護が困難になり結果施設入所に結び付けざるを得ないケースが多かったようです。

- ミニデイサービスは毎月第一木曜日で続けていますが、スタッフ補充等が難しく利用者数を増やすところまではいかず、6人前後の利用者参加になっています。
- 新規の依頼は前年度同様の地域包括支援センターからに加え、レイディアントシティ向ヶ丘遊園の相談室やふれあい昼食会から結びついたケースもありました。
- ヘルパーのサービス提供責任者が変わり 25 年度末からケアマネ、デイ、ヘルパーの三事業会議を復帰させ、連携を図り事業の見直しをしました。
- 介護支援専門委員会や研修に参加し情報収集、スキルアップに日々努めています。

(3) 介護保険法に基づく介護予防サービス事業

(デイサービス事業、ホームヘルプ事業にて報告)

(4) 介護保険法に基づく介護予防支援事業 (ケアプラン作成事業にて報告)

(5) 行政の福祉・介護事業等の受託事業収入

1) 有馬コスモスの家受託事業

○年間利用状況

実施回数	利用者実数			利用者 延人数	年 齢 内 訳			
	男	女	計		60代	70代	80代	90代
243 回	12	75	87	4280	5	44	31	7

- 1日平均延利用者数 17.6名 平均年齢 78.3歳
- 新規登録者数 21名
- 退所者数 10名 (退所理由：介護認定 4名、自己都合 6名)

<実態把握>

日中独居	1人暮らし	高齢者世帯	計
40	20	27	87

<年間の取り組み>

介護保険対象外の自立の方を対象としているとはいえ 60代後半から 90代の方が通所されているので活動内容の平等化に難しい面もありますが皆さんが 1日楽しんでもらえるよう取り組んできました。

- 定着してきたストレッチでは、ストレッチローラーやボールを使っでの筋力強化、またセラバンド(ゴム)やペットボトルを使ったストレッチも好評でした。
- 手芸では利用者が先生となり活動に活気がでて取り組む姿も生き生きとされていました。また月 1回、3名のボランティア講師の方が来て下さる手芸も好評です。
- 福祉ネットに参加することにより年齢層の若い方がコスモスの家を知るきっかけとなり、またその方達がコスモスの家での活動内容や食事が美味しいと PR をしてくださり利用者が利用者と呼ぶといったかたちで新規契約の方が増えてきました。
毎行われる歌やリンパ体操はもちろんのこと年 1回のリンパピクス体操はとても好評です。
- 前年度より実施してきた登録日以外の自由参加については曜日によっては満員になる曜日もでてきました。
- アンケート調査の結果から毎年行うバスドライブに加え全額利用者負担のバスドライブ(東京観光)を行ったところとても好評でした。

- 緊急時の連絡先の確認を行い一覧表の作成をしました。全曜日での避難訓練はできませんでしたが避難訓練を行い消防署へ報告しました。
- 小学校の畑をお借りして、ジャガイモ、ネギ、小松菜、春菊、えんどう、そら豆などを利用者も参加して栽培しました。
- 小学校交流事業では、3年生の学習発表会参加・マロンフェスタ(10月)・書初め展(1月)・作品展(2月)を行い、またボランティア委員会の子供たちからエコキャップやベルマークの回収についての声掛けがあり利用者の皆さんも協力をしてくれています。
- 給食施設申請が義務付けられた為、栄養士資格を持っている調理場スタッフ児玉さんの名前で福祉センターへ届出をしました。

調理場の人材育成として1名の調理場スタッフが食品衛生管理者資格を取得しました。

(6) 独居又は病弱の高齢者等に対する給食宅配事業

1) 夕食宅配事業

配食数	4,354食	前年度(平成24年度)に比べて769食減りました
-----	--------	--------------------------

- プラン作成のなかで地域包括支援センター、ケアマネージャー、デイサービスからの紹介がありました。利用者からの紹介もありました。
- 例年通り、死亡、入院、入所、転居等、利用者の著しい変化がありました。
- 雪の時も、皆様の協力で休むことなく通常通りの業務ができました。

(7) 高齢者及び中高年の中途障害者等を対象とする日帰り介護事業及び訪問介護事業

1) 宮前コスモスの家

絵の会	毎月第1木曜日	10回開催	参加者述べ57名
-----	---------	-------	----------

- 秋の三田ふれあい祭りに作品の展示をしました。

2) 自由契約ヘルパー(ホームヘルプ事業にて報告)

(8) 高齢者の福祉に関する情報提供等の事業

1) 三田ふれあいセンターコスモスの家

	昼食会	ケーキを焼く会	喫茶室	ヨガ教室	三田俳句の会	パソコン教室	健康麻雀クラブ	その他	合計
平成24年度 (実施回数)	1021 (44)	79 (9)	115 (9)	209 (22)	6 (1)	341 (45)	957 (103)	112 (5)	2840 (238)
平成25年度 (実施回数)	929 (44)			170 (18)		285 (46)	1216 (103)	74 (4)	2674 (215)

その他(男の料理教室、フォーラム)

- ふれあいセンター施設利用 74件 前年比+22件
(モンブランの会、韓国語を学ぶ会、みたべり会、第一生田ハイツ管理組合及び自治会、第二生田ハイツ自治会、三田台自治会及び婦人部、三田すこやか活動推進委員会、麻雀ボランティア)
- 「ふれあいセンター通信」を発行することが出来ませんでした。そのかわりに、ふれあいまつりと三田花見の会のチラシに活動の紹介を掲載し、配布しました。今後、地域住民の方が継続して活動に参加してもらえるように、定期的な広報の必要性が課題です。

- 各活動を横繋ぎにし、更なるネットワーク化を図るために「ふれあいセンターフォーラム」を7月7日(日)コスモスの家ケア室にて開催しました。
- ヨガ教室は先生のご都合で7月16日、8月休みとなり、8月3日、17日は気功教室をしました。2月15日は雪のため中止となりました。
- 昼食会は、10月16日台風のため中止となりました。
- 各活動において、ボランティアさんが中心的な役割を果たしていました。

2) 三田花見の会

日時 平成26年3月29日(土) 午前11時～午後1時半

場所 コスモスの家ケア室

主催 コスモスの家

内容 ハーモニカ演奏(ふれあいセンターハーモニカ愛好会)、東北支援物資の販売

参加者 約30名

(9) 児童福祉に関する保育事業

1) こすもす保育園

1 こすもす保育園は平成25年4月より25年度川崎市の「川崎認可外保育事業再構築基本方針」により川崎認定保育園B型となり定員25名の保育、子育て支援、一時保育など地域における様々なニーズに応えた子育て支援を行ってまいりました。

2 25年度保育児童数

定員25名	ちゅーりっぷ組				すみれ組				合計
	(4)	(9)			5(4)	5(3)			
	0歳児	1歳児	一時保育	計	2歳児	3歳児	一時保育	計	
4月	0	142	24	147	152		36	163	354
5月	0	146	27	173	74	94	37	205	378
6月	15	125	38	178	86	81	46	213	391
7月	19	128	45	192	90	78	38	217	409
8月	17	122	37	166	86	34	53	173	339
9月	41	112	42	195	114	53	48	215	410
10月	59	132	47	238	116	54	38	208	446
11月	97	120	25	242	114	57	28	199	441
12月	85	115	30	230	113	52	44	209	439
1月	99	118	21	238	99	32	39	170	408
2月	81	121	15	217	75	22	37	134	351
3月	118	143	20	281	87	32	61	180	461
									計4827名

3 環境整備・設備充当についての報告

- ① 押入れの設置(布団や玩具などの収納)
- ② ベッドパッドの使用(布団カバーにかわるもの)
- ③ 給食室の整備(動線の確保・水道水漏れ修理・手洗い水道設置)
- ④ 休憩室・相談室の確保(スペース確保のため引き戸をつける)
- ⑤ 事務室の整備・隔離室の整備(感染症児童を隔離するための折りたたみベッド)

- ⑥ 乳児・幼児にクラス分けするためのパーテーション設置（乳児室にたたみ）
- ⑦ ロッカー交換（子供が出し入れしやすいものに交換）
- ⑧ 乳児用身長計購入し園児だけでなく、子育て支援でも身体測定ができるようになった
- ⑨ 年齢にあった備品・玩具の購入
- ⑩ 食材を地元のOKストアに発注し、直接仕入れをする
- ⑪ テラス下に倉庫増築
- ⑫ 砂場づくり

4 平成 25 年度の振り返り

- ① 常勤保育士の確保ができず、シフトが不安定であった。
- ② 4月～6月にかけて園児の確保が定員にみたなかった。
- ③ 川崎市からB型～A型移行への打診があったが、土曜日の開園に対し、常勤保育士の確保ができず見送ることになる。26年度は常勤保育士の確保に努めたい。
- ④ 子育て支援をするにあたり、前半は定期的にはできなかったが、後半月1回の開催と看護師とともに身体測定を行うことにより、入園児童に結びつけることができた。現在、砂場で遊びたいという利用者からのリクエストも出ている。
- ⑤ こすもす保育園に入園する児童は待機児童とみなされ、公立や認可保育園に希望する保護者のポイントとなり兄弟が保育園に入所することができた。
- ⑥ 保護者から職員の対応が大変親切で、緊急時の対応も迅速であった。など安心してあずけることができるとの声をいただき職員の仕事に対する意識が高くなってきている。
- ⑦ ホームページを開設し、パンフレットも新しく作成したことで広くアピールすることができ、下半期は既定の児童数を確保することができ、経済的にも安定させることができた。
- ⑧ また地域やデイサービスでのお年寄りとの触れ合いが大変よかった。
- ⑨ 認可外保育園の保育料は認可保育園に比べ高いため、子育て世帯に不平等さを感じさせる点を考慮し、今年度10月より川崎市が保育料に対する助成金を出すことにより、保護者の負担軽減と認定保育園離れをなくすことにつながった。
- ⑩ こすもす保育園は駅近ではないが、自然や建物、地域の方々との関わりなど保育環境としては豊かで人材にも恵まれていることから保護者にも大変喜ばれている。今後も地域に求められる保育園として努力していきたい。

5 年間行事報告

4月 新入・進級お祝い会	5月 こいのぼり製作 人形劇 野菜づくり手伝い	6月 虫歯予防デー プール開き	7月 七夕 プール遊び
8月 レイディアントシティ 夏祭り（模擬店参加）	9月	10月 お芋ほり・園外散歩 デイサービス訪問	11月 保護者懇談会 レイディアント文化祭
12月 ハンドベルコンサート クリスマス会	1月 五反田神社初詣	2月 豆まき	3月 ひな祭り レイディアント防災訓練 お別れ遠足

誕生会 月1回 避難訓練 月1回 身体測定 月1回 畑 毎週水曜日 園医健診 年3回
 子育て支援 月1回 ぎょうちゅう検査 年1回

(10) 住みよいまちづくり事業

1) めだかの地域大学

地域において「生涯学習の場」、「情報交換の場」、「ひきこもり予防」等、「多様な参加の場」として、参加者の要望に基づいての継続的な教室を行いました。

7月31日	夏休み子ども料理教室	29名	(講師 多摩区ヘルスマイトの会)
12月23日	生田中学校吹奏学部演奏会	93名	
3月15日	春の健康教室 吉田先生	24名	

2) 第11回ふれあい祭りの開催

地元「三田商店街」との連携による、まちの活性化と地域住民の暮らしのネットワークを目指しました。会場となった生田中学校特別創作活動センターでは、来場された方々の様々な交流を作ることが出来ました。

日時 平成25年11月3日(日) 午前11時～午後2時

主催 三田ふれあいまつり実行委員会

共催 NPO 法人秋桜舎・コスモスの家
コスモスの家を支える会

後援 川崎市多摩区社会福祉協議会

会場 生田中学校特別創作活動センター

参加者 約150名

内容

- バザー会場では、日用雑貨、お赤飯、いなり寿司、新米などを販売しました。
- 調理室では、喫茶室を開き、ケーキセット、トン汁セットの販売を行いました。
- 東北支援物資(ふりかけ、味噌)を南相馬市NPO法人あさがお、ほっと悠作業所より取り寄せ販売しました。
- 中2階円形広場では、五反田自治会婦人部によるコーラス、ハーモニカ演奏(ふれあいセンターハーモニカ愛好会)がありました。また、2階円形廊下では、宮前コスモスの家の絵画作品他とフォトギャラリーの展示をしました。
- バザーに来場された方々に三田まちづくりの花いっぱい運動の一環として、チューリップの球根を配布しました。
- 24店舗の商店が協賛して下さいました。(協賛金:フジ薬局、おしゃれの店 KIMURA、理容室サワダ、まつもと美容院、双葉ハウス)
- コスモスの家関係者のおまつりから脱し、「三田地域全体で行事を共有できるような方向性」を目指しました。立正大学の社会福祉学部より前年に引き続き3名の参加がありました。

3) 「三田まちづくり委員会」の取り組み 地域ネットワーク作り

- 日常的なネットワーク作りが、地域の孤立問題や緊急災害時における課題解決に必要と考え、生田中学校、明治大学園田先生研究室と共催で地域住民の交流会を開催しました。

8月19日 だんご汁(すいとん)の会 46名

1月19日 初がまの会 35名

- 地域防災ネットワーク会議

1月19日に地域の自治会・管理組合の防災に関する取り組みについての意見交換をしました。参加者5名

(11) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

- 研修会（コスモスの家25周年記念事業として）
日時 平成25年10月12日（土）午後2時～4時
場所 明治大学地域産学連携研究センター
内容 「2025年・介護保険は使えない」
講師 日下部雅喜氏（大阪社保協・介護保険対策委員）
参加者 約90名
- 福利厚生
健康診断補助（常勤スタッフ）
1年1回インフルエンザ予防注射
エプロン代1,000円支給
市民共済への加入
新年会の開催
- 広報活動
コスモス便り 第97号春号 第98号秋冬号を発行
- 実習生・見学者の受け入れ
明治学院大学生 2名 実習生受け入れ
生田中学校 14名 職業体験生受け入れ
- コスモスの家25周年記念事業
日時 平成25年9月21日（土）午前10時～12時
場所 生田中学校特別創作活動センター
内容 記念講演、保育園保育士による出し物、ハーモニカ演奏
パーティ（デイサービスセンターケア室にて）
参加者 約70名
- NPO 全国ネット交流会
日時 平成25年10月26日（土）
場所 和歌山県橋本市
内容 「安心安全に住み続けられる地域社会を作ろう」
参加者 4名
- 「全国集合住宅団地支え合いサミット IN かわさき」
日時 平成26年2月1日（土）2日（日）
場所 川崎市労働会館
内容 基調鼎談（理事長出席）・3分科会・事例検討会
参加者 6名
- 認定 NPO 法人化に向けた動き
平成25年12月の市議会で川崎市条例指定 NPO 法人と認定される。

2. その他の事業

- (1) 物品販売事業（ふれあいセンターにて報告）
- (2) スペース貸出し事業（ふれあいセンターにて報告）